

Lie Groups and Representation Theory Seminar at the University of Tokyo

リー群論・表現論セミナー

- DATE May 20 (Tue), 2008, 16:45–18:15
- PLACE Room 126, Graduate School of Mathematical Sciences
- SPEAKER **Taro Yoshino** (吉野太郎) (Tokyo Institute of Technology)
- TITLE Lipsman 予想の反例と代数多様体の特異点について
- ABSTRACT リー群 G が多様体 M に作用しているとき、その商空間 $G \backslash M$ のハウスドルフ性は、不連続群論の研究において重要である。特に、ベキ零リー群が線型空間にアフィンかつ自由に作用するとき、商位相は常にハウスドルフであると Lipsman は予想した。しかし、この予想には反例があり、商位相は必ずしもハウスドルフでない。この講演では、この非ハウスドルフ性を‘可視化’したい。より正確には、 M への G 作用から、自然に代数多様体 V が定義され、 V の特異点が商位相の非ハウスドルフ性に対応することを見る。